

平成27年度 第1学年 社会（地理的分野・歴史的文化）年間指導計画

1 教科目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 評価の観点

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、よりよい社会を考え、国民としての自覚を持つようとしている。	社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	社会的事象に関する様々な資料を収集し有用な情報を選択し、効果的に活用している。	社会的事象の意義や特色、相互の関連などを理解し、その知識を身に付けている。

3 評価基準（100点満点）

方法	観点 社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・ 判断・表現	観察・資料活用 の技能	社会的事象につい ての知識・理解	合計
定期試験	4	18	20	25	67
提出物、単元別テスト	8	7	5		20
授業態度	13				13
合計	25	25	25	25	100

4 使用教材

教科書「新しい社会 地理」（東京書籍）
教科書「新しい社会 歴史」（東京書籍）

5 年間学習計画

学期	月	単元名	学習目標	時間	主な評価規準	評価方法
1	4	第1章 世界のすがた ★言語活動 6州の特色を表すキーワードを使ってそれぞれの州の地域的特色を説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・六大陸と三大洋の名称や大きさ、位置関係を様々な角度からとらえる。 ・世界地図の特色を、地球儀との比較で理解し、目的に応じて活用できる。 ・緯度の違いが気温の変化をもたらし、北極・南極などが寒い理由を考察する。 ・現代世界を大きく六つの州に分けてとらえ、地図上で理解する。 ・おもな国々の国名と位置などを理解する。 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・大陸と海洋の形状や分布、名称の知識を身に付け、その位置関係を理解している。（知識） ・世界地図や地球儀にかかわる長所と短所を理解し、距離や方位などを調べるための知識を身に付けている。（知識） ・気温の変化を、緯度の違いから考察し、地球儀などを使って説明している。（思考） ・世界の大陸の分布や人々の暮らしなどから考察するとともに、国として成り立つ要素を国でない地域と比較して考え、自分の考えを発表している。（思考） ・おもな国の名称と位置、世界の地図区分を理解し、その知識を地図上で身に付けている。（知識） 	定期試験 単元別テスト
	5	第2章 世界各地の人々の生活と環境 ★言語活動 地域の生活の特色を位置や気候に関連させて説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域区分の意義について知り、世界の国々をどのように区分してとらえたらよいかについて考える。 ・現代世界を大きく六つの州に分けてとらえていることを地図上で理解する。 ・国名の由来に着目した活動を通して、さまざまな国の名称や形、位置を地図を使って身につける。 ・日本から遠い国を地球儀や地図を用いて調べる。 ・自分なりに工夫して世界の略地図を描くことができるようになる。 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に世界の地域構成をとらえようとしている。（関心） ・世界の地域構成を地球上の位置関係と水陸の分布、国々の構成と地域区分を基に多面的・多角的に考察している。（思考） ・世界の地域構成をとらえるために地球儀や世界地図を活用するとともに、世界の地域構成を追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明できる。（技能） 	定期試験 単元別テスト
	6 7	第3章 世界の諸地域 ★言語活動 主題図や統計資料を活用し	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が地域によって異なっていることを理解する。 ・さまざまな情報から、特に目立つ事象を見つけ、その特色を調べる活動を計画することができる。 	34	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の地域構成を地球上の位置関係と水陸の分布、国々の構成と地域区分を基に理解し、その知識を身に付けている。（知識） ・世界の国々の地理的事象から課題を見だし、それを環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に追究する。（思考） ・世界の国々に関する地図や統計その他の資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用する。（表現） 	

		<p>様々な地域や国の特徴を説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主題図や統計などさまざまな資料を比較することによって、国の特色を浮き彫りにすることができる。 ・人口分布図と気候を示した地図とを重ね合わせて、その関係を読み取っていくことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・世界の国々の地域的特色とともに、国家規模の地域的特色をとらえる視点や方法などを理解し、それらの知識を身に付けている。(知識) ・世界の国々に対する関心を高め、その調査に意欲的に取り組み、世界の国々の地域的特色をとらえようとしている。(関心) 	<p>定期試験 単元別テスト</p>
2	9 10 10 11 12	<p>第4章 世界のさまざまな地域の調査 ★言語活動 世界各地の地形の特徴を世界図を使って説明できる。</p> <p>第1章 歴史のとらえ方 ★言語活動 設定した主題について自分でまとめ発表する。</p> <p>第2章 古代までの日本 ★言語活動 日本の古代の生活の様子について住居や食糧などの違いに触れ説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した地理的事象や日常生活などの地理的事象に興味関心を持たせ、設定した課題の解決に向けて、調査活動や探究的な学習に意欲的に取り組ませる。 ・世界の人々はそれぞれの地域で、なぜそのような多様な生活を営んでいるのかを考えさせ、世界の地理的認識を深めさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・関心ある主題を設定することを通して、学習に対する意欲を持つ。 ・設定した主題についての資料を収集したりまとめたりする活動を通して、主体的に学習する態度を身につける。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本列島における旧石器時代の人々の生活の様子を、考古学の成果を活用しながら具体的にとらえる。 ・古代文明の特色を、生活技術の発達や文字の使用などを通して理解する。 ・仏教・キリスト教・イスラム教などのおこりについて理解する。 ・日本の国家が形成されていく過程のあらましを、東アジアとのかかわりを通してとらえる。 ・大陸から移住してきた人々が日本の社会に果たした役割について考える。 	6 3 22	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の国々に対する関心を高め、その調査に意欲的に取り組み、世界の国々の地域的特色をとらえようとしている。(関心) ・世界の国々の地理的事象から課題を見だし、それを環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に追究する。(思考) ・世界の国々の地域的特色とともに、国家規模の地域的特色をとらえる視点や方法などを理解し、それらの知識を身に付けている。(知識) <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の歴史の流れと地域の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。(関心) <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域の具体的な事柄と我が国の歴史とのかかわりを考察している。(考察) ・我が国の歴史とかかわる東アジアの歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。(知識) ・日本列島における人々の生活の変化に関する考古学の成果をはじめとする様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した結果をまとめたり、説明したりしている。(表現) 	<p>定期試験 単元別テスト</p> <p>定期試験 単元別テスト</p>
3	1 2 3	<p>第3章 中世の日本 ★言語活動 藤原氏の摂関政治についてどのように権力を握っていたのか過程を踏まえて特徴を説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平安時代の中ごろに登場した武士がしだいに勢力を広げたことを、地方や都で起きた戦乱の様子などから理解する。 ・将軍や執権と御家人の関係に注目して、武家政権の特色を考える。 ・鎌倉時代の新しい仏教の特色を理解し、それが人々の心をとらえて広まった理由を考える。 ・建築物・彫刻・文学作品のいくつかを具体的に調べ、鎌倉時代の文化の特色を理解する。 	22	<ul style="list-style-type: none"> ・国家の形成と天皇・貴族の政治の展開のあらましや文化などから課題を見だし、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察している。(思考) ・武家政権の成立とその後の政治、社会、文化の動きに関する様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した結果をまとめたり、説明したりしている。(表現) ・武家政権の成立とその後の政治、社会、文化の動きを、我が国の歴史とかかわる東アジア世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。(知識) 	<p>定期試験 単元別テスト</p>